

2020 年度

未来がん医療プロフェッショナル養成プラン
履修要項

東京医科歯科大学大学院

目 次

コース修了の要件並びに履修案内	1
2020年度 未来がん医療プロフェッショナル養成プラン 時間割	4
カリキュラム	5
総合基礎	
がんの生物学・解剖学・病理学	6
がんのシステム生物学	10
がんの社会医学	12
総合臨床	
低侵襲がん治療Ⅰ	14
低侵襲がん治療Ⅱ	16
臓器別がん	18
小児・希少がん	20
臨床腫瘍学	22
がんゲノム	24
がん臨床研究・エビデンス実践医療Ⅰ（MMA:臨床研究・治験）	26
がん臨床研究・エビデンス実践医療Ⅱ（MMA:健康情報データベースと統計分析）	28
放射線療法コース	
腫瘍放射線生物学特論	30
放射線診断学・核医学特論	32
腫瘍放射線治療学特論	34
薬物療法コース	
抗がん剤薬理学	36
がん化学療法特論	38
緩和ケア・ライフステージコース	
緩和ケア・緩和医療学	40
緩和ケア・精神腫瘍学	42
緩和ケア・ライフステージ	44
キャンパス案内	46
教室マップ	47
2020年度 授業科目履修届	48

コース修了の要件並びに履修案内

1. 修了の要件

がん専門医師養成コース

- * 緩和ケア医療者養成
- * ゲノム医療者養成
- * 小児がん・希少がん医療者養成

以下の1および2を満たし、課程が求める単位数以上を修得し、かつ必要な論文指導を受けた上で、所属する研究科が行う論文の審査及び最終試験に合格することが本コースの修了要件となる。

1. 講義・演習及び実習を6単位以上（必修科目＋選択科目）修得。コースによって必修科目が違うので注意すること。
2. 緩和ケア医療者養成コースを修了する者については、必ず実習を履修登録すること。実習は個人の経歴により単位数に換算出来るものと出来ないものがある。実習については以下のa～c どれに該当するのか実習指導教員（下記）に相談のうえ、実習／免除申請書を提出すること。
 - a. 時期、期間を個別に設定し、実習を実施（1週間、1単位）
 - b. 社会人大学生など、外部施設で経験がある場合。
→指導教員が実績等を勘案し、不要と判断した場合は免除（単位は付与しない）
 - c. 大学に勤務し、専門の臨床業務を行っている場合
→診療科長が実績等を勘案し、不要と判断した場合は免除（単位は付与しない）

* 緩和ケア医療者養成コース実習指導教員

三宅 智 教授 臨床腫瘍学分野

インテンシブコース

- ◆ゲノム医療者養成
- ◆小児がん・希少がん医療者養成
- ◆緩和ケア医療者養成

以下の条件を満たした場合に、本コースのプログラムを修了したものとする。

- ・ 講義科目（実習科目の選択可）において6単位以上の修得。（コースによって選択する科目が違うので注意すること。）

2. 評価、単位認定

○評価の方法

出席状況、授業態度、レポート、小テスト等によって評価する。

○成績評価

成績評価は全ての講義が終了した後に行われる。（年度末）

○修了証

本コースの修了要件を満たした時に発行する。

3. 履修方法

○履修方法

がん専門医師養成コース

* 緩和ケア医療者養成

* ゲノム医療者養成

* 小児がん・希少がん医療者養成

本プログラム専用の「履修届」（本要項最終ページ）を下記の登録期間内に学務企画課大学院教務第一係へ提出する。（学務企画課大学院教務第一係でも入手可能。）

他大学の学生は所属する大学担当者を通じて履修登録をする。

インテンシブコース

◆ゲノム医療者養成 ◆小児がん・希少がん医療者養成 ◆緩和ケア医療者養成

希望者は所属部署を通じて履修登録を行う。

○履修登録受付

2020年4月7日（火） ～ 2020年4月10日（金）17:00まで

○履修の可否及び通知

受講不可の場合のみ連絡

○履修取り消しについて

登録した履修科目について、履修を継続しない場合には本人からの届出により取り消すことができる。前期開講科目については5月31日までに、後期開講科目、通年開講科目及び複数年開講科目については11月30日までに「履修登録科目取消願」を記入し学務企画課大学院教務第一係まで提出すること。履修取消の手続きを行わない場合には、当該授業科目の成績評価を不可とする。

4. 他大学生の身分

「特別聴講学生」とする。履修期間は履修する授業科目が開講されている授業期間とする。

5. 講義時間

1時限 18:30～19:50

2時限 19:50～21:10

質疑応答 21:10～21:30

原則として上記時間帯に講義を行うが、都合により変更になることもある。

6. 講義室

東京医科歯科大学M&Dタワー11階 大学院講義室3

*原則として、上記講義室で実施するが、都合により変更になることもある。

2020年度 未来がん医療プロフェッショナル養成プラン 時間割

要項 番号	科目名	教室	単位	科目責任者	担当教員及び分担詳細科目				
					1日目(月)	2日目(火)	3日目(水)	4日目(木)	5日目(金)
種別:総合基礎									
	がんの生物学・解剖学・病理学	A11	1	三宅 智	5月18日 秋田 恵一	5月19日 小林 大輔	5月20日 沢辺 元司	5月21日 /	5月22日 明石 巧
	がんのシステム生物学	A11	1	三宅 智	5月25日 畑 裕	5月26日 秋山 好光	5月27日 島田 周	5月28日 荒川 博文	5月29日 /
	がんの社会医学	*A13 他A11	1	三宅 智	6月1日 荻島 創一	6月2日 茂樺 薫	6月3日 川路 英哉	6月4日 宮 冬樹	6月5日 /
					*7月27日 河原 和夫	7月28日 中山 健夫	7月29日 吉田 雅幸	7月30日 平川晃弘	7月31日 小池 竜司
種別:総合演習									
	包括的がん治療学演習	A	1~2	池田 貞勝	ゲノムがんボードにて実施 追って詳細連絡				
種別:総合臨床									
	低侵襲がん治療Ⅰ	A11	1	三宅 智	6月15日 菊池 章史	6月16日 石川 喜也	6月17日 福島 啓司	6月18日 星野 明弘	6月19日 石橋 洋則
	低侵襲がん治療Ⅱ	A11/C	1	三浦 雅彦	6月22日 武田 篤也	6月23日 植竹 宏之	6月24日 戸田 一真	6月25日 川口 英夫	6月26日 秋元 哲夫
	臓器別がん	A11	1	三宅 智	9月28日 朝蔭 孝宏	9月29日 本多 隆行	9月30日 中川 剛士	10月1日 川田 研郎	10月2日 /
					10月5日 石川 喜也	10月6日 若菜 公雄	10月7日 福田 翔平	10月8日 佐藤 雄哉	10月9日 /
	小児・希少がん	A11	1	三宅 智	10月12日 三宅 智	10月13日 田村 郁	10月14日 石川 智則	10月15日 /	10月16日 道 泰之
					10月19日 高木 正稔	10月20日 小柳 広高	10月21日 山本 正英	10月22日 /	10月23日 並木 剛
	臨床腫瘍学	A11	1	三宅 智	10月26日 三宅 智	10月27日 酒井 朋子	10月28日 坂下 博之	10月29日 前嶋 康浩	10月30日 /
					11月2日 三宅 智	11月3日 /	11月4日 石川 敏昭	11月5日 神谷 尚宏	11月6日 佐藤 信吾
	がんゲノム	A11	1	三宅 智	11月9日 谷本 幸介	11月10日 高嶺 恵理子	11月11日 加納 嘉人	11月12日 久保 崇	11月13日 小山 隆文
	がん臨床研究・エビデンス実践医療Ⅱ (MMA:健康情報データベースと統計分析) (18:00~21:10)	A13	1	高瀬 浩造	11月30日 水嶋 春翔	12月1日 高瀬 浩造	12月2日 高瀬 浩造	12月3日 高瀬 浩造	12月4日 /
	がん臨床研究・エビデンス実践医療Ⅰ (MMA:臨床研究・治験) (18:00~21:10)	A13	1	小池 竜司	12月7日 津谷 喜一郎	12月8日 高瀬 浩造	12月9日 永田 将司	12月10日 小池 竜司	12月11日 /
種別:放射線療法コース									
	腫瘍放射線生物学特論	A11	1	三浦 雅彦	8月31日 三浦 雅彦	9月1日 三浦 雅彦	9月2日 三浦 雅彦	9月3日 三浦 雅彦	9月4日 /
	放射線診断学・核医学特論	A11	1	立石 宇真秀	9月7日 立石 宇真秀	9月8日 加納 大輔	9月9日 土居 久志	9月10日 大崎 洋充	9月11日 清水 昭伸 井上 和治
	腫瘍放射線治療学特論	A11	1	吉村 亮一	9月14日 吉村 亮一	9月15日 吉村 亮一	9月16日 吉村 亮一	9月17日 吉村 亮一	9月18日 /
種別:薬物療法コース									
	抗がん剤薬理学	A11	1	三宅 智	11月16日 林 良雄	11月17日 兼原 隆	11月18日 三木 義男	11月19日 永田 将司	11月20日 /
	がん化学療法特論	A11/B	1	下枝 貞彦	11月23日 /	11月24日 平野 俊彦	11月25日 平野 俊彦	11月26日 下枝 貞彦	11月27日 杉浦 宗敏
種別:緩和ケア・ライフステージコース									
	緩和ケア・緩和医療学	A11	1	三宅 智	6月29日 三宅 智	6月30日 吉澤 明孝	7月1日 田中 桂子	7月2日 山田 陽介	7月3日 /
	緩和ケア・精神腫瘍学	A11	1	三宅 智	7月6日 清水 研	7月7日 野口 海	7月8日 小川 朝生	7月9日 /	7月10日 大西 秀樹
	緩和ケア・ライフステージ	A11	1	三宅 智	7月13日 /	7月14日 三宅 智	7月15日 保坂 隆	7月16日 林 章敏	7月17日 小池 真規子

講義時間:1限18:30~19:50 2限19:50~21:10
質疑応答:21:10~21:30

A:東京医科歯科大学 M&Dタワー(横数字は教室階数)

B:東京薬科大学(遠隔講義)

C:弘前大学(遠隔講義)

太字:外部講師 日付斜体表記:遠隔講義

●2020年度 カリキュラム

種別	科目名	教室	単位	がん専門医師養成コース		インテンシブコース	
				緩和ケア医療者養成 2018年4月開始	小児がん・希少がん医療者養成 2018年4月開始	緩和ケア医療者養成 2018年4月開始	小児がん・希少がん医療者養成 2018年4月開始
《専門医養成コース》							
総合基礎	がんの生物学・解剖学・病理学 がんのシステム生物学 がんの社会医学	A11 A11 A11及びA13	1 1 1	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	★ ★ ★
総合演習	包括的がん治療学演習(ゲノムキヤンサーポート)	A11	1~2	○	●	○	★
総合臨床	低侵襲がん治療 I	A11	1	○	○	○	★
	低侵襲がん治療 II	A11	1	○	○	○	★
	臓器別がん	A11	1	○	●	○	★
	小児・希少がん 臨床腫瘍学	A11	1	○	●	○	★
	がんゲノム	A11	1	○	○	○	★
	がん臨床研究・エビデンス実践医療 I がん臨床研究・エビデンス実践医療 II	A13 A13	1 1	○ ○	○ ○	○ ○	★ ★
放射線療法コース	腫瘍放射線生物学特論 放射線診断学・核医学特論 腫瘍放射線治療学特論	A11 A11 A11	1 1 1	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	★ ★ ★
薬物療法コース	抗がん剤薬理学 がん化学療法特論	A11 A11	1 1	○ ○	○ ○	○ ○	★ ★
緩和ケア・ライフステージコース	緩和ケア・緩和医療学概論 緩和ケア・精神腫瘍学特論 緩和ケア・ライフステージ	A11 A11 A11	1 1 1	○ ● ●	○ ○ ○	○ ○ ○	★ ★ ★
実習	緩和ケア医療実習 ゲノム医療実習		1~4	○ ●			★ ★

●必須科目
○選択科目

修了要件 <
●講義3単位+実習1単位
○2単位

●講義2単位+総合演習1単位
○3単位
●講義2単位+総合演習1単位
○3単位

★インテンシブコース選択科目

がんプロシラバス

種別:総合基礎

科目名:がんの生物学・解剖学・病理学 1単位

(Overview of Cancer Biology, Anatomy and Pathology)

科目コード:9801

科目 ID:GM-C9801-L

1. 担当教員

科目担当責任教員:

三宅 智 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科臨床腫瘍学分野 教授

科目担当教員:(講義順)

秋田 恵一 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科臨床解剖学分野 教授

小林 大輔 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科人体病理学分野 助教

沢辺 元司 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科分子病理検査学分野 教授

明石 巧 東京医科歯科大学医学部附属病院病理部 准教授

畑 裕 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科病態代謝解析学分野 教授

秋山 好光 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科分子腫瘍医学分野 講師

島田 周 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科分子腫瘍医学分野 助教

荒川 博文 国立がん研究センター研究所腫瘍生物学分野 分野長

2. 主な講義場所 : M&Dタワー11階 大学院講義室3

3. 授業目的・概要等

授業目的

- ・医療における癌の病理診断(良性と悪性、浸潤や転移)について、その方法と診断までの過程について理解する。
- ・癌の悪性度判断の重要性について、治療法との関連において理解する。
- ・早期癌の診断と治療について、進行癌との対比において理解する。
- ・治療による癌病巣の変化について理解する。
- ・癌の転移経路となるリンパ行路について理解する。
- ・癌の動注療法に用いられる動脈配置について理解する。
- ・がん遺伝子とがん抑制遺伝子の機能、およびがん発症におけるそれら遺伝子の異常について理解する。
- ・発がん物質、がん化に関連する感染症、遺伝性がんについて理解する。
- ・がんの分化制御因子と、分化誘導療法について理解する。
- ・がんと血管の関わり、およびがんの血管新生阻害療法について理解する。

- ・細胞形態から物質代謝・エネルギー代謝も含め、正常細胞との違いに基づいて、がん細胞の特性を理解する。
- ・がんで最も深刻な転移について、細胞接着や細胞極性の基本的知識を基盤にして理解する。
- ・年長者のがんに比較して、その治療や予後が異なる遺伝性・弧発性の小児がんについて基本知識を修得し、その生物学的特徴を理解する。
- ・細胞の運命に直結する、細胞死・細胞の寿命、細胞増殖・細胞周期、DNA損傷修復について、特にがんとの関係を重点に理解する。
- ・細胞の形質転換に関する定説・新説、ならびに、がん幹細胞や関連するES細胞・iPS細胞について理解する。

概要

- ・発がんの分子機構の理解に重要ながん遺伝子とがん抑制遺伝子の種類および機能的役割について説明する。さらに、これらの遺伝子のヒトがんにおける異常や検出法、発がん物質・分化・血管新生などとの関連について解説する。また、がんの増殖・悪性化における血管新生の意義、分化誘導療法の有用性についても述べる。特に、がん抑制遺伝子 p53 については、発見から現在までの研究の歴史を知ることによってがん細胞の特性を学び、さらに我々の最新の知見を紹介する。
- ・生命の基本単位である細胞について、正常細胞とがん細胞の違いを重点に解説する。また、細胞の運命(増殖、分化、細胞死、形質転換、遺伝形質)に関して、細胞周期、DNA 損傷応答・修復も含め、最新の知見にも言及する。
- ・医療における病理診断の実例を題材として、癌の良性悪性、浸潤や転移がどのように観察され、診断されているのかを解説する。また一口に癌と言っても悪性度は様々であり、それによって治療方針なども異なるので、病理の立場からその情報が臨床の現場でどのように生かされているのかを解説する。
- ・わが国は癌の早期診断が進歩しており、諸外国に比べ早期癌の診断・治療の機会が多いので、実例を示しながらその診断と治療について解説する。
- ・化学療法や放射線治療によって癌の病巣はどのように変化するのかについて解説し、さらに各臓器に発生する癌の姿はどのように異なるかについて、その発生母地の違いの観点から解説する。さらに解剖学的観点から、癌治療ならびに癌の転移の理解に必要な、脈管系を中心とした解剖学について解説する。

4. 授業の到達目標

癌の振る舞いや本態を、診断や治療と関連させながら生物学、形態学の視点にて理解する。

5. 授業の方法

講義形式による。

6. 授業内容

回数	日時	講義内容	担当者	担当者連絡先 (e-mail)
1	5月18日(月)1時限目	胸腹部ならびに骨盤部癌の臨床解剖	秋田 恵一	akita.fana@tmd.ac.jp
2	5月19日(火)1時限目	癌の異型度と悪性度	小林 大輔	d-koba.pth1@tmd.ac.jp
3	5月20日(水)1時限目	癌の発生部位と多様性	沢辺 元司	m.sawabe.mp@tmd.ac.jp
4	5月22日(金)1時限目	癌の化学療法における病理診断の役割	明石 巧	akashi.path@tmd.ac.jp
5	5月25日(月)1時限目	がん細胞の生化学的特徴	畑 裕	yuhammch@tmd.ac.jp
6	5月26日(火)1時限目	がん遺伝子とがん抑制遺伝子	秋山 好光	yakiyama.monc@tmd.ac.jp
7	5月27日(水)1時限目	遺伝性がん	島田 周	shimada.monc@tmd.ac.jp
8	5月28日(木)1時限目	がん細胞の特性	荒川 博文	harakawa@ncc.go.jp

7. 成績評価の方法

出席状況、および授業内容の理解度によって評価する。

8. 準備学習などについての具体的な指示

基本的な解剖学と組織学の復習をしておく。

9. 参考書

特になし。

10. 履修上の注意事項

発がん過程だけでなく、最新のがん治療とも関連が深い。ハンドアウト有り。

11. オフィスアワー

12. 備考

特になし。

がんプロシラバス

種別:総合基礎

科目名:がんのシステム生物学 (Cancer Systems Biology) 1単位

科目コード:9802

科目 ID:GM-C9802-L

1. 担当教員

科目担当責任教員:

三宅 智 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科臨床腫瘍学分野 教授

科目担当教員:(講義順)

荻島 創一 東北大学高等研究機構未来型医療創成センターゲノム医療情報学分野 教授

茂櫛 薫 富士通株式会社公共・地域営業グループ

川路 英哉 東京都医学総合研究所ゲノム医学研究センター開設準備室 副参事研究員

宮 冬樹 東京医科歯科大学難治疾患研究所医科学数理分野 講師

2. 主な講義場所 : M&Dタワー11階 大学院講義室3

3. 授業目的・概要等

授業目的

- ①システム生物学、オミックス情報学の基本的概念について理解する。
- ②がんにおけるゲノム異常、遺伝子発現異常などの実例を学ぶ。
- ③がんの遺伝子発現解析について、パスウェイマップ等を用いて解析する手法を学ぶ。
- ④細胞における非コード RNA とエピジェネティック制御を理解し、がん化によるこれらの変化とバイオマーカーとの関連を学ぶ。
- ⑤ゲノム・トランスクリプトーム・プロテオームなどの包括的な生体分子情報（オミックス情報）を用いたがん研究や、オミックス情報を扱う上で有用なデータベースなどについて学ぶ。

概要

近年の網羅的分子計測法の発展により、ゲノム情報のみならず、トランスクリプトーム・プロテオームなどの各手法において、ハイスループットな解析が可能になった。これらの網羅的分子情報は、オミックス情報と総称される。オミックス情報は、これまでの臨床情報や病理情報、あるいは生活習慣環境情報と関連付けることによって、分子から個体レベルまで総体として疾患のメカニズムを理解できるだけでなく、従来にはない精度で疾患の経過、重症化、予後を予測できると期待されている。

こうしたシステム生物学、オミックス情報学の基本的概念とがんの診断や治療における個別化、およびがんの予防における有用性について概説する。

4. 授業の到達目標

がん研究において、システム生物学およびオミックス情報学に基づくソフトウェアやデータベースなどを活用できるようにする。

5. 授業の方法

講義形式による。

6. 授業内容

回数	日時	講義内容	担当者	担当者連絡先 (e-mail)
1	6月 1日(月)1時限目	がんのパスウェイ解析	荻島 創一	ogishima@sysmedbio.org
2	6月 1日(月)2時限目			
3	6月 2日(火)1時限目	がんのオミックス解析	茂榎 薫	kmogushi@juntendo.ac.jp
4	6月 2日(火)2時限目			
5	6月 3日(水)1時限目	がん細胞のエピジェネティック制御とバイオマーカー	川路 英哉	kawaji@gsc.riken.jp
6	6月 3日(水)2時限目			
7	6月 4日(木)1時限目	がんの変異・発現・免疫環境を統合したオミックス解析	宮 冬樹	miya.mesm@mri.tmd.ac.jp
8	6月 4日(木)2時限目			

7. 成績評価の方法

出席状況とレポートまたは小テストによって評価する。

8. 準備学習などについての具体的な指示

がんに関する分子生物学的な研究の概要を理解していることが望ましい。

9. 参考書

授業において紹介する。

10. 履修上の注意事項

他の総合基礎科目ならびに最先端がん治療のトピックスは関連が深く、是非受講して頂きたい。
ハンドアウト有り。

11. オフィスアワー

本学常勤職員が担当していないため、メール等にて随時受け付ける。

12. 備考

これからの時代のがん臨床研究に興味ある学生の聴講を期待する。

がんプロシラバス

種別:総合基礎

科目名:がんの社会医学 (Social Medicine of Cancer) 1単位

科目コード:9803

科目 ID:GM-C9803-L

1. 担当教員

科目担当責任教員:

三宅 智 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科臨床腫瘍学分野 教授

科目担当教員:(講義順)

河原 和夫 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科政策科学分野 教授

中山 健夫 京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康情報学分野 教授

吉田 雅幸 東京医科歯科大学統合研究機構研究基盤クラスター生命倫理研究センター長
教授

平川 晃弘 東京医科歯科大学医学部附属病院臨床試験管理センター 教授

小池 竜司 東京医科歯科大学統合研究機構イノベーション推進本部医療イノベーション
推進センター長 教授

2. 主な講義場所 : M&Dタワー11階 大学院講義室3

*7月27日(月)のみ 18:00~21:10 於 M&Dタワー13階 大学院講義室2

3. 授業目的・概要等

授業目的

- ① 疫学の基本的考え方・方法論を理解し、臨床・研究・健康政策の検討に活用する基礎を学ぶ。
- ② 医療統計の基礎と臨床研究・治験を行うために必要な統計学を理解する。
- ③ 臨床研究・治験を行う際に理解しておくべき倫理学を学ぶ。
- ④ 地域医療計画、特にがんに関する医療計画を学ぶ。
- ⑤ 治験・臨床試験に関する基本的法規・規制および倫理的指針を理解し、その計画・実施・評価に関する基本的知識を修得する。

概要

- ① 疫学の基本的な考え方である、母集団、バイアス、交絡、比較などを解説し、疫学研究の方法論として記述疫学、観察疫学(コホート研究、症例対照研究)、介入研究などの実例を紹介する。
- ② 臨床研究・治験に必要な医療統計学の理論と実際を講義する。
- ③ 臨床研究・治験を行う際に、留意すべき倫理的問題について解説する。
- ④ 地域医療計画の概要と、がんに関する医療計画の政策策定および実施計画について解説する。
- ⑤ 治験・臨床試験を計画・評価するために必要な知識を解説する。さらにがん治療に関する治験・臨床試験の特徴や問題点、新規試験の計画や実臨床への応用についても解説する。

4. 授業の到達目標

がんの疫学、医療統計学、医療計画を学び、実臨床への応用や研究を理解することができる。

5. 授業の方法

講義形式による。

6. 授業内容

回数	日時	講義内容	担当者	担当者連絡先 (e-mail)
1	* 7月27日(月)1時限目	医療計画とがん対策	河原 和夫	kk.hcm@tmd.ac.jp
2	* 7月27日(月)2時限目			
3	7月28日(火)1時限目	疫学	中山 健夫	nakayama.takeo.4a@kyoto-u.ac.jp
4	7月28日(火)2時限目			
5	7月29日(水)1時限目	がん研究の倫理審査と遺伝子検査	吉田 雅幸	masa.vasc@tmd.ac.jp
6	7月29日(水)2時限目			
7	7月30日(木)1時限目	がん研究の統計手法	平川 晃弘	
8	7月30日(木)2時限目			
9	7月31日(金)1時限目	がん対象の臨床試験の特徴と留意点	小池 竜司	koike.rheu@tmd.ac.jp
10	7月31日(金)2時限目			

7. 成績評価の方法

出席状況、レポートによって評価する。

8. 準備学習などについての具体的な指示

特になし。

9. 参考書(以下購入の必要はなし)

中村好一著 基礎から学ぶ楽しい疫学 (医学書院)

青山英康監修 今日の疫学(第2版)(医学書院)

川村孝著 エビデンスをつくる (医学書院)

J Last. A Dictionary of Epidemiology (4th ed). (Oxford University Press)

(日本疫学会 疫学辞典 第3版 日本公衆衛生協会)

10. 履修上の注意事項

社会医学は臨床研究、Evidence-based medicine (EBM)の基盤であり、他科目と密接に関係している。スライド資料を当日配布。

11. オフィスアワー

12. 備考

特になし。

がんプロシラバス

種別:総合臨床

科目名:低侵襲がん治療 I (Minimal Invasive Treatment for Cancer. I) 1単位

科目コード:9804

科目 ID:GM-C9804-L

1. 担当教員

科目担当責任教員:

三宅 智 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科臨床腫瘍学分野 教授

科目担当教員:(講義順)

菊池 章史 東京医科歯科大学医学部大学院医歯学総合研究科消化管外科学分野 助教

石川 喜也 東京医科歯科大学医学部附属病院肝胆膵外科 助教

福島 啓司 東京医科歯科大学医学部附属病院泌尿器科 特任助教

星野 明弘 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科消化管外科学分野 助教

石橋 洋則 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科呼吸器外科学分野 講師

2. 主な講義場所 : M&Dタワー11階 大学院講義室3

3. 授業目的・概要等

授業目的

各領域のがんに対する低侵襲性治療を理解する。

手術、放射線治療、化学療法を組み合わせた、がんに対する集学的治療を理解する。

概要

外科的手技に関しては低侵襲性手術の考え方や成績を示し、動画を含む映像を提示する。

4. 授業の到達目標

がんの低侵襲手術の実際を学び、がん診療における役割を理解することができる。

5. 授業の方法

講義形式による。

6. 授業内容

回数	日時	講義内容	担当者	担当者連絡先 (e-mail)
1	6月15日(月)1時限目	大腸疾患	菊池 章史	kikuchi.srg2@tmd.ac.jp
2	6月15日(月)2時限目			
3	6月16日(火)1時限目	肝胆膵癌の低侵襲治療	石川 喜也	y-ishikawa.msrg@tmd.ac.jp
4	6月16日(火)2時限目			
5	6月17日(水)1時限目	泌尿器科低侵襲手術	福島 啓司	fukuuro@tmd.ac.jp
6	6月17日(水)2時限目			
7	6月18日(木)1時限目	食道癌に対する低侵襲治療	星野 明弘	hosino.srg1@tmd.ac.jp
8	6月18日(木)2時限目			
9	6月19日(金)1時限目	肺癌治療	石橋 洋則	hishiba.thsr@tmd.ac.jp
10	6月19日(金)2時限目			

7. 成績評価の方法

出席状況とレポートまたは小テストによって評価する。

8. 準備学習などについての具体的な指示

特になし。

9. 参考書

特になし。

10. 履修上の注意事項

臓器別がんの診療などに関連有り。ハンドアウト有り。

11. オフィスアワー

12. 備考

特になし。

がんプロシラバス

種別:総合臨床

科目名:低侵襲がん治療Ⅱ (Minimal Invasive Treatment for Cancer. Ⅱ) 1単位

科目コード:9805

科目ID:GM-C9805-L

1. 担当教員

科目担当責任教員:

三浦 雅彦 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科口腔放射線腫瘍学分野 教授

科目担当教員:(講義順)

武田 篤也 大船中央病院放射線治療センター長

植竹 宏之 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科総合外科学分野 教授

戸田 一真 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科腫瘍放射線治療学分野 講師

川口 英夫 弘前大学大学院医学研究科放射線科学講座 助教

秋元 哲夫 国立がん研究センター東病院 副院長、粒子線医学開発分野長

2. 主な講義場所 : M&Dタワー11階 大学院講義室3

(6月25日(木)は、弘前大学よりM&Dタワー11階へ遠隔講義配信)

3. 授業目的・概要等

授業目的

- ・各領域のがんに対する低侵襲性治療を理解する。
- ・放射線治療の種類、適応、有効性を理解する。
- ・手術、放射線治療、化学療法を組み合わせた、がんに対する集学的治療を理解する。

概要

放射線治療は、臓器別、治療法別に解説する。特に小線源治療やIMRT、定位照射等の高精度放射線治療、陽子線による粒子線治療について、日本を代表する講師陣によって最先端の講義を行う。大腸がんに関しては、手術と化学療法の併用療法について、先進的な内容の講義を行う。

4. 授業の到達目標

- ・各領域のがんに対する低侵襲性治療を理解できる。
- ・放射線治療の種類、適応、有効性を理解できる。
- ・手術、放射線治療、化学療法を組み合わせた、がんに対する集学的治療を理解できる。

5. 授業の方法

講義形式による。

6. 授業内容

回数	日時	講義内容	担当者	担当者連絡先 (e-mail)
1	6月22日(月)1時限目	定位照射	武田 篤也	takeda@1994.jukuin.keio.ac.jp
2	6月22日(月)2時限目			
3	6月23日(火)1時限目	大腸がんにおける抗癌剤と手術の併用	植竹 宏之	h-uetake.srg2@tmd.ac.jp
4	6月23日(火)2時限目			
5	6月24日(水)1時限目	子宮がん・前立腺がんの放射線治療	戸田 一真	tdmrad@tmd.ac.jp
6	6月24日(水)2時限目			
7	*6月25日(木)1時限目	IMRT	川口 英夫	mdct@io.ocn.ne.jp
8	*6月25日(木)2時限目			
9	6月26日(金)1時限目	陽子線治療	秋元 哲夫	takimoto@east.ncc.go.jp
10	6月26日(金)2時限目			

*この講義は弘前大学からの遠隔講義となります。

7. 成績評価の方法

出席状況とレポートまたは小テストによって評価する。

8. 準備学習などについての具体的な指示

特になし。

9. 参考書

特になし。

10. 履修上の注意事項

臓器別がんの診療などに関連有り。ハンドアウト有り。

11. オフィスアワー

月、水、金 16:00-18:00

科目責任者 三浦雅彦教授室(M&D タワー755号)

12. 備考

特になし。

がんプロシラバス

種別:総合臨床

科目名:臓器別がん(Organ-specialized Cancer Therapy) 1単位

科目コード:9806

科目ID:GM-C9806-L

1. 担当教員

科目担当責任教員:

三宅 智 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科臨床腫瘍学分野 教授

科目担当教員:(講義順)

朝蔭 孝宏 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科頭頸部外科学分野 教授

本多 隆行 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科統合呼吸器病学分野 助教

中川 剛士 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科総合外科学分野 講師

川田 研郎 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科消化管外科学分野 講師

石川 喜也 東京医科歯科大学医学部附属病院肝胆膵外科 助教

若菜 公雄 東京医科歯科大学医学部附属病院周産・女性診療科 講師

福田 翔平 東京医科歯科大学医学部附属病院泌尿器科 特任助教

佐藤 雄哉 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科消化管外科学分野 助教

2. 主な講義場所 : M&Dタワー11階 大学院講義室3

3. 授業目的・概要等

授業目的

臓器別のがんに対する標準的治療法ならびに集学的治療法の原理と実際について理解する。

概要

臓器別のがんのそれぞれの分類、病態、診断法について概説する。外科的療法、化学療法、さらにそれらを組み合わせた集学的治療について説明し、それらの適応、目標、有用性についても述べる。また、最近の臨床研究やトピックスも交えて解説する。

4. 授業の到達目標

臓器別がん診療の実際を学び、実臨床、研究に生かすことができる。

5. 授業の方法

講義形式による。

6. 授業内容

回数	日時	講義内容	担当者	担当者連絡先 (e-mail)
1	9月28日(月)1時限目	頭頸部癌の基礎から応用まで	朝蔭 孝宏	tasakage.hns@tmd.ac.jp
2	9月29日(火)1時限目	肺癌各論(内科編)	本多 隆行	honda.pulm@tmd.ac.jp
3	9月30日(水)1時限目	乳がん	中川 剛士	nakagawa.srg2@tmd.ac.jp
4	10月1日(木)1時限目	食道がん	川田 研郎	kawada.srg1@tmd.ac.jp
5	10月5日(月)1時限目	肝胆膵がん	石川 喜也	y-ishikawa.msrg@tmd.ac.jp
6	10月6日(火)1時限目	婦人科がん(子宮・卵巣)	若菜 公雄	k.wakana.crm@tmd.ac.jp
7	10月7日(水)1時限目	泌尿器がん	福田 翔平	shouro@tmd.ac.jp
8	10月8日(木)1時限目	胃がん	佐藤 雄哉	yusatoh.srg1@tmd.ac.jp

7. 成績評価の方法

出席状況とレポートまたは小テストによって評価する。

8. 準備学習などについての具体的な指示

特になし。

9. 参考書

特になし。

10. 履修上の注意事項

小児・希少がん、臨床腫瘍学、がんゲノムは関連が深く、併せて受講して頂きたい。

11. オフィスアワー

12. 備考

特になし。

がんプロシラバス

種別:総合臨床

科目名:小児・希少がん (Pediatric and rare cancers) 1単位

科目コード:9807

科目 ID:GM-C9807-L

1. 担当教員

科目担当責任教員:

三宅 智 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科臨床腫瘍学分野 教授

科目担当教員:(講義順)

三宅 智 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科臨床腫瘍学分野 教授

田村 郁 東京医科歯科大学医学部附属病院脳神経外科 助教

石川 智則 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科茨城県小児・周産期地域医療学講座 准教授

道 泰之 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科顎口腔外科学分野 講師

高木 正稔 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科発生発達病態学分野 准教授

小柳 広高 東京医科歯科大学医学部附属病院整形外科 助教

山本 正英 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科血液内科学分野 講師

並木 剛 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科皮膚科学分野 准教授

2. 主な講義場所 : M&Dタワー11階 大学院講義室3

3. 授業目的・概要等

授業目的

小児がんおよび希少がんの基礎と臨床の歴史、現状についての系統的な知識を整理する。

概要

種々の角度から小児がんおよび希少がん全般を俯瞰することができるような授業を計画している。

授業中の積極的なディスカッションも含めたインタラクティブな講義も行う。

4. 授業の到達目標

小児がんおよび希少がん診療の実際を学び、実臨床、研究に生かすことができる。

5. 授業の方法

講義形式による。

6. 授業内容

回数	日時	講義内容	担当者	担当者連絡先 (e-mail)
1	10月12日(月)1時限目	小児がん・希少がん概論	三宅 智	m.takagi.ped@tmd.ac.jp
2	10月13日(火)1時限目	脳腫瘍	田村 郁	tamura.nsrq@tmd.ac.jp
3	10月14日(水)1時限目	がんと妊孕性	石川 智則	t.ishikawa.crm@tmd.ac.jp
4	10月16日(金)1時限目	口腔がん	道 泰之	y-mic.mfs@tmd.ac.jp
5	10月19日(月)1時限目	小児がん	高木 正稔	m.takagi.ped@tmd.ac.jp
6	10月20日(火)1時限目	骨軟部腫瘍	小柳 広高	koyanagi.orth@tmd.ac.jp
7	10月21日(水)1時限目	血液腫瘍	山本 正英	hide.hema@tmd.ac.jp
8	10月23日(金)1時限目	皮膚悪性腫瘍	並木 剛	tnamderm@tmd.ac.jp

7. 成績評価の方法

出席状況とレポートまたは小テストによって評価する。

8. 準備学習などについての具体的な指示

特になし。

9. 参考書

特になし。

10. 履修上の注意事項

臓器別がん、臨床腫瘍学、がんゲノムは関連が深く、併せて受講して頂きたい。

11. オフィスアワー

12. 備考

特になし。

がんプロシラバス

種別:総合臨床

科目名:臨床腫瘍学 (Clinical Oncology) 1単位

科目コード:9808

科目ID:GM-C9808-L

1. 担当教員

科目担当責任教員:

三宅 智 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科臨床腫瘍学分野 教授

科目担当教員:(講義順)

三宅 智 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科臨床腫瘍学分野 教授

酒井 朋子 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科リハビリテーション医学分野
講師

坂下 博之 横須賀共済病院化学療法科 部長

前嶋 康浩 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科循環制御内科学分野 准教授

石川 敏昭 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科総合外科学分野 准教授

神谷 尚宏 東京医科歯科大学医学部附属病院臨床試験管理センター 特任助教

佐藤 信吾 東京医科歯科大学医学部附属病院がん先端治療部 講師(整形外科)

2. 主な講義場所 : M&Dタワー11階 大学院講義室3

3. 授業目的・概要等

授業目的

腫瘍学全般について系統的に理解する。基礎研究、疫学、治療学、緩和医療学、社会医学的な側面も含め、総合的なアプローチで腫瘍学の知識を整理する。

概要

腫瘍学の歴史をたどりながら、上記に挙げた種々の角度から腫瘍学全般を俯瞰することができるような授業を計画している。授業中の積極的なディスカッションも含めたインタラクティブな講義も行う。

4. 授業の到達目標

臨床腫瘍学の概略を学び、実臨床、研究に生かすことができる。

5. 授業の方法

講義形式による。

6. 授業内容

回数	日時	講義内容	担当者	担当者連絡先 (e-mail)
1	10月26日(月)1時限目	緩和腫瘍学とは？	三宅 智	sm.conc@tmd.ac.jp
2	10月27日(火)1時限目	がんリハビリ	酒井 朋子	t_sakai.orth@tmd.ac.jp
3	10月28日(水)1時限目	がん治療最前線～免疫チェックポイント阻害薬 vs 分子標的治療薬	坂下 博之	hsakpulum@yahoo.co.jp
4	10月29日(木)1時限目	腫瘍循環器学	前嶋 康浩	ymaeji.cvm@tmd.ac.jp
5	11月 2日(月)1時限目	高齢者のがん	三宅 智	sm.conc@tmd.ac.jp
6	11月 4日(水)1時限目	大腸癌化学療法の実際～最適な治療を目指して	石川 敏昭	ishi.srg2@tmd.ac.jp
7	11月 5日(木)1時限目	CAR-T 療法	神谷 尚宏	kamiya.ped@tmd.ac.jp
8	11月 6日(金)1時限目	骨転移の診断、治療、チーム医療の重要性	佐藤 信吾	satoshin.phy2@tmd.ac.jp

7. 成績評価の方法

出席状況とレポートまたは小テストによって評価する。

8. 準備学習などについての具体的な指示

特になし。

9. 参考書

臨床腫瘍学 日本臨床腫瘍学会編 2015年など。

10. 履修上の注意事項

がんゲノム、臓器別がん、小児・希少がんは関連が深く、是非受講して頂きたい。

11. オフィスアワー

12. 備考

特になし。

がんプロシラバス

種別:総合臨床

科目名:がんゲノム (Cancer genomics and precision medicine) 1単位

科目コード:9809

科目ID:GM-C9809-L

1. 担当教員

科目担当責任教員:

三宅 智 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科臨床腫瘍学分野 教授

科目担当教員:(講義順)

谷本 幸介 東京医科歯科大学難治疾患研究所ゲノム解析室 助教

高嶺 恵理子 東京医科歯科大学医学部附属病院腫瘍センター 認定遺伝カウンセラー

加納 嘉人 東京医科歯科大学医学部附属病院がん先端治療部 特任助教

久保 崇 国立がん研究センター先端医療開発センター 研究員

小山 隆文 国立がん研究センター中央病院先端医療科 医員

2. 主な講義場所 : M&Dタワー11階 大学院講義室3

3. 授業目的・概要等

授業目的

がんゲノムの基礎と臨床、がんゲノム医療の基礎と臨床の歴史、現状についての系統的な知識を整理する。

概要

種々の角度からがんゲノムおよびがんプレジジョンメディスン全般を俯瞰することができるような授業を計画している。授業中の積極的なディスカッションも含めたインタラクティブな講義も行う。

4. 授業の到達目標

がんゲノム診療の実際を学び、実臨床、研究に生かすことができる。

5. 授業の方法

講義形式による。

6. 授業内容

回数	日時	講義内容	担当者	担当者連絡先 (e-mail)
1	11月 9日(月)1時限目	次世代シーケンサーの基礎	谷本 幸介	ktani.nri@mri.tmd.ac.jp
2	11月 9日(月)2時限目	遺伝・ゲノム変異の基礎	高嶺恵理子	takamine.canc@tmd.ac.jp
3	11月10日(火)1時限目	がんゲノム医療の基礎	加納 嘉人	kano.canc@tmd.ac.jp
4	11月10日(火)2時限目			
5	11月11日(水)1時限目	がん遺伝子パネル検査におけるデータ解析	久保 崇	tkubo@ncc.go.jp
6	11月11日(水)2時限目			
7	11月12日(木)1時限目	がんゲノム解析後の治療	小山 隆文	takoyama@ncc.go.jp
8	11月12日(木)2時限目			

7. 成績評価の方法

出席状況とレポートまたは小テストによって評価する。

8. 準備学習などについての具体的な指示

特になし。

9. 参考書

特になし。

10. 履修上の注意事項

臨床腫瘍学、抗がん剤薬理学、がん化学療法特論は関連が深く、是非受講して頂きたい。

11. オフィスアワー

12. 備考

特になし。

がんプロシラバス

種別:総合臨床

科目名:がん臨床研究・エビデンス実践医療 I 1単位

Clinical research for cancer and Evidence-based medicine I

科目コード:9810

科目ID:GM-C9810-L

1. 担当教員

	名前	分野・職名	連絡先
科目責任者	小池 竜司	医療イノベーション推進センター 教授	koike.rheu@tmd.ac.jp
科目担当者	高瀬 浩造	研究開発学分野 教授	ktakase.rdev@tmd.ac.jp
	津谷 喜一郎	東京有明医療大学保健医療学部 特任教授	tsutanik@gmail.com
	永田 将司	薬物動態学分野 准教授	mna-mpha@tmd.ac.jp

2. 主な講義場所

M&Dタワー13階 大学院講義室2

3. 授業目的・概要等

授業目的

がん医療における臨床研究・臨床試験の役割は極めて大きく、開発の趣旨と並行して、試験自体の治療としての意義も無視できない事情がある。がん対象の臨床試験の特殊性を理解するためにも、まず一般的なエビデンス・ベースト・メディスン(EBM)と医療疫学概念を理解し、EBMのための臨床研究デザインと統計学的背景および薬理学的解析手法を学ぶとともに、医薬品医療機器の開発との関連とそのプロセスの概要について現状を把握することを目的としている。本科目の理解を前提に、がん対象の臨床試験の現実や特徴を理解することが望ましい。

概要

原則として、一般的なEBMと医療疫学概念、データベースの利用方法について講述し、医学的な根拠データとなる臨床研究の概要を理解する。臨床研究における無作為コントロール試験、症例対照研究、コホート研究、メタアナリシスの各研究デザインについて解説する。臨床疫学研究における生物学的バイアスの概念を講述し、医薬品の有効性や安全性を総合的に解釈するための手法としてのファーマコメトリクスについて概説する。これらの知識を背景とした医療開発のプロセス、関連法令や指針、国内外の現状と展望について具体的に紹介し、問題点を検討する。

4. 授業の到達目標

- ・エビデンス・ベースト・メディスン(EBM)と医療疫学概念を理解するとともに、がんを対象とする研究の特徴との対比について考える。
- ・EBMのための臨床研究デザインと統計学的背景を理解する。
- ・ファーマコメトリクスの概念を理解する。
- ・薬事承認取得のための臨床試験(治験)の現状と問題点を検討する。

5. 授業方法

講義形式による。

6. 授業内容

- ・臨床研究の基本的知識とデザイン
- ・生物学的バイアスと交絡
- ・ファーマコメトリクス入門
- ・医薬品医療機器開発を想定した臨床試験(治験)の現状と展望

7. 成績評価の方法

参加状況(60%)とレポート(40%)を総合して評価する。

8. 準備学習等についての具体的な指示

特になし。

9. 参考書

特になし。

10. 履修上の注意事項

「総合基礎 がんの社会医学概論」と関連する。

11. 英語による授業

全て日本語で行う。

12. オフィスアワー

授業内容の問い合わせに関しては、電子メールで連絡を取るにより、適宜これに対応する。

13. 備考

特になし。

別表

回数	授業日時	授業内容	担当教員
1	12月7日 (月) 18:00~21:10	臨床研究の基本的知識とデザイン	津谷 喜一郎
2	12月8日 (火) 18:00~21:10	生物学的バイアスと交絡	高瀬 浩造
3	12月9日 (水) 18:00~21:10	ファーマコメトリックス入門	永田 将司
4	12月10日 (木) 18:00~21:10	医薬品医療機器開発のための臨床研究・治験の現状と展望	小池 竜司

がんプロシラバス

種別:総合臨床

科目名:がん臨床研究・エビデンス実践医療Ⅱ 1単位

Clinical research for cancer and Evidence-based medicineⅡ

科目コード:9811

科目ID:GM-C9811-L

1. 担当教員

	名前	分野・職名	連絡先
科目責任者	高瀬 浩造	研究開発学分野 教授	ktakase.rdev@tmd.ac.jp
科目担当者	水嶋 春朔	横浜市立大学大学院情報システム予防医学部門 教授	shunsaku@yokohama-cu.ac.jp

2. 主な講義場所

M&Dタワー13階 大学院講義室2

3. 授業目的・概要等

授業目的

がん臨床疫学に必要な統計学的背景および統計学的手法を理解するとともに、健康データベースから正確な疫学情報を抽出する際の注意点について理解することを目的とする。

概要

基本知識としての統計学的技法を説明した後、生物統計における2つの異なる潮流、すなわちネイマン・ピアソン型の頻度論統計学とベイズ型の確率論統計学について理解を深める。応用として医療政策の前提となる、診断、治療、医療の質の評価、医療の安全性、疫学、健康情報データベースにかかわる情報を収集して、的確に解釈し意思決定に反映させるための基礎知識と技術、統計法、公的統計の体系と整備について概説する。また、健康情報データベースによる根拠に基づいたがん医療政策のありかたについて議論する。

4. 授業の到達目標

- ・医療に必要な統計学の基本を理解する。
- ・がん臨床疫学に必要な記述統計的手法を説明できる。
- ・臨床推論における主観確率論を理解する。
- ・研究における質保証に係わる統計的手法について説明できる。
- ・行政の実施している各種衛生統計の意義を説明できる。
- ・最新の医療・健康情報を収集し、科学的に解釈することができる。

5. 授業方法

講義形式によるが、一部演習を含む。

6. 授業内容

- ① 医学基本統計学
- ② 生物統計学におけるネイマン・ピアソン統計学とベイズ統計学
- ③ デジタルデータとアナログデータ
- ④ 衛生統計学と健康情報データベースに基づく政策決定

7. 成績評価の方法

成績評価は参加状況(50点)および講義中に課す課題あるいは演習の評価(50点)の総合評価による。

8. 準備学習等についての具体的な指示

基礎的な基本統計学の知識を有していることを前提としている。

9. 参考書

教科書:統計学の教科書は特に指定しないが、各自で準備すること。

参考書:上畑鉄之丞 監訳「根拠に基づく健康政策のすすめ方」(医学書院)2003年

10. 履修上の注意事項

ある程度の統計学に関する基礎知識があることを前提としている。

特にベイズ統計学については予習しておくこと。

11. 英語による授業

全て日本語で行う。

12. オフィスアワー

オフィスアワーは特に定めないが、授業内容の問い合わせに関しては、電子メールで連絡を取ることであり、適宜これに対応する。

13. 備考

特になし。

別表

回数	授業日時	授業内容	担当教員
1	11月30日 (月) 18:00~21:10	根拠に基づく健康政策	水嶋 春朔
2	12月1日 (火) 18:00~21:10	基本統計学	高瀬 浩造
3	12月2日 (水) 18:00~21:10	統計学的推論・検定	高瀬 浩造
4	12月3日 (木) 18:00~21:10	統計学の応用	高瀬 浩造

がんプロシラバス

種別:放射線療法コース

科目名:腫瘍放射線生物学特論 (Radiation Biology) 1単位

科目コード:9812

科目ID:GM-C9812-L

1. 担当教員

科目担当責任教員:

三浦 雅彦 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科口腔放射線腫瘍学分野 教授

科目担当教員:(講義順)

三浦 雅彦 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科口腔放射線腫瘍学分野 教授

1. 主な講義場所 : M&Dタワー11階 大学院講義室3

2. 授業目的・概要等

授業目的

腫瘍に対する放射線治療における生物作用を理解するために、放射線生物学の基本的知識を修得し、臨床応用の実際を理解する。

概要

放射線が生物に対して与える影響について、分子レベル、細胞レベル、個体レベル、および集団レベルで論じる。また、病態・疾患との関連について講じる。

3. 授業の到達目標

放射線が生物に対して与える影響について、分子レベル、細胞レベル、個体レベル、および集団レベルで理解できる。また、病態・疾患との関連について理解できる。

4. 授業の方法

講義形式による。

5. 授業内容 時間:18:30-21:10

回数	日時	講義内容	担当者	担当者連絡先 (e-mail)
1	8月31日(月) 1・2時限目	放射線生物学	三浦 雅彦	masa.mdth@tmd.ac.jp
2	9月 1日(火) 1・2時限目	放射線生物学	三浦 雅彦	masa.mdth@tmd.ac.jp
3	9月 2日(水) 1・2時限目	放射線生物学	三浦 雅彦	masa.mdth@tmd.ac.jp
4	9月 3日(木) 1・2時限目	放射線生物学	三浦 雅彦	masa.mdth@tmd.ac.jp

6. 成績評価の方法

出席状況とレポートまたは小テストによって評価する。

7. 準備学習などについての具体的な指示

特になし。

8. 参考書

特になし。

10. 履修上の注意事項

特になし。

11. オフィスアワー

月、水、金 16:00-18:00

科目責任者 三浦雅彦教授室(M&D タワー755号)

12. 備考

特になし。

がんプロシラバス

種別:放射線療法コース

科目名:放射線診断学・核医学特論 (Diagnostic Radiology and Nuclear Medicine) 1単位

科目コード:9813

科目ID:GM-C9813-L

1. 担当教員

科目担当責任教員:

立石 宇貴秀 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科画像診断・核医学分野 教授

科目担当教員:

立石 宇貴秀 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科画像診断・核医学分野 教授

加納 大輔 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科画像診断・核医学分野 非常勤講師

土居 久志 国立研究開発法人理化学研究所生命機能科学研究センター
標識化学研究チーム チームリーダー

大崎 洋充 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科画像診断・核医学分野 非常勤講師

清水 昭伸 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科画像診断・核医学分野 非常勤講師

井上 和治 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科画像診断・核医学分野 非常勤講師

2. 主な講義場所 : M&Dタワー11階 大学院講義室3

3. 授業目的・概要等

授業目的

最先端の画像診断学を習得するために、その基礎である診断薬の創薬、データ収集方法・再構成方法、データ解析方法、人工知能を応用した診断技術とプログラミングの基本的知識を習得しTRにおいてどのように展開されているかを学ぶ。

概要

画像診断学は、機器性能向上に伴う撮影高速化による画像処理・読影件数・データ管理の負荷が急速に大きくなっている領域である。また、PET/CT、SPECT/CT、PET/MRIなどのハイブリッド画像技術の普及により診断方法の多様化が加速している。今後もこの傾向は続くものと予想されるため、インフラ整備を含めた十分な人的対応に取り組む必要がある。また、形態画像のみではなく、人体の代謝・血流現象をモニターする機能画像の併用が基本となっているため、複雑な取得データから臨床上有用な情報を抽出・分析できる能力を身につけられるよう医療従事者の教育を充実させていくことが重要となっている。このため、画像診断学における診断薬や治療薬の創薬、データサンプリング方法、画像作成技術、画像再構成方法、人工知能を併用した評価方法などの知識は、研究の基本となる。

4. 授業の到達目標

画像診断学は、in vivo の血流・代謝情報を経時的に収集・解析することで病態把握に迫ることができる領域である。in vivo の血流を低侵襲的に抽出する方法として造影剤をボース注入し解像度の高いマルチスライス CT や高磁場 MRI で経時的に撮影するダイナミックスキャンプロトコルを作成し、in vivo のダイナミック解析がバイオマーカーとして使用できるような研究を構築している。in vivo の代謝を低侵襲的に抽出する方法として 3D で経時的に撮影するスキャンプロトコルを作成し応用できる。放射線診断領域における最先端の診断技法の原理および概要が理解でき、創薬、診断技術、人工知能を併用した評価の基本的知識を理解できる。

5. 授業の方法

講義形式による。

6. 授業内容 時間:18:30-21:10 (* 曜日変更の場合あり)

回数	日時	講義内容	担当者	担当者連絡先 (e-mail)
1	9月 7日(月) 1・2時限目	総論	立石 宇貴秀	radiology.mrad@tmd.ac.jp
2	9月 8日(火) 1・2時限目	創薬・合成装置・GMP	加納 大輔	radiology.mrad@tmd.ac.jp
3	9月 9日(水) 1・2時限目	創薬・新規プローブ	土居 久志	radiology.mrad@tmd.ac.jp
4	9月10日(木) 1・2時限目	撮影技術・半導体	大崎 洋充	radiology.mrad@tmd.ac.jp
5	9月11日(金) 1・2時限目	AI 画像診断	清水 昭伸 井上 和治	radiology.mrad@tmd.ac.jp

7. 成績評価の方法

出席状況と小テストによって評価する。

8. 準備学習などについての具体的な指示

特になし。

9. 参考書

特になし。

10. 履修上の注意事項

特になし。

11. オフィスアワー

月～金 9:00-17:00

科目責任者 立石宇貴秀教授(M&D タワーS964)

12. 備考

特になし。

がんプロシラバス

種別:放射線療法コース

科目名:腫瘍放射線治療学特論 (Radiation Oncology) 1単位

科目コード:9814

科目ID:GM-C9814-L

1. 担当教員

科目担当責任教員:

吉村 亮一 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科腫瘍放射線治療学分野 教授

科目担当教員:(講義順)

吉村 亮一 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科腫瘍放射線治療学分野 教授

2. 主な講義場所 : M&Dタワー11階 大学院講義室3

3. 授業目的・概要等

授業目的

腫瘍に対する放射線治療の基本的知識を修得し、実臨床においてどのように実施されているかを学ぶ。

概要

放射線治療の意義とその応用範囲, 線量測定・治療計画の方法論, 他の治療法との関連および副作用・安全管理について論じる。

4. 授業の到達目標

放射線治療の意義とその応用範囲, 線量測定・治療計画の方法論, 他の治療法との関連および副作用・安全管理について理解できる。

5. 授業の方法

講義形式による。

6. 授業内容 時間:18:30-21:10

回数	日時	講義内容	担当者	担当者連絡先 (e-mail)
1	9月14日(月) 1・2時限目	放射線治療	吉村 亮一	ysmrmrad@tmd.ac.jp
2	9月15日(火) 1・2時限目	放射線治療	〃	〃
3	9月16日(水) 1・2時限目	放射線治療	〃	〃
4	9月17日(木) 1・2時限目	放射線治療	〃	〃

7. 成績評価の方法

出席状況とレポートまたは小テストによって評価する。

8. 準備学習などについての具体的な指示

特になし。

9. 参考書

特になし。

10. 履修上の注意事項

特になし。

11. オフィスアワー

月, 火, 木(平日) 12:00~13:00

科目責任者 吉村亮一教授(M&D タワー S957)

12. 備考

特になし。

がんプロシラバス

種別:薬物療法コース

科目名:抗がん剤薬理学 (Pharmacology of Anticancer Drugs) 1単位

科目コード:9815

科目ID:GM-C9815-L

1. 担当教員

科目担当責任教員:

三宅 智 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科臨床腫瘍学分野 教授

科目担当教員:(講義順)

林 良雄 東京薬科大学薬学部薬品化学教室 教授

栗原 隆 横浜薬科大学臨床薬学科バイオ医薬品評価学部門 教授

三木 義男 東京医科歯科大学難治疾患研究所分子遺伝分野 教授

永田 将司 東京医科歯科大学医学部附属病院薬剤部 准教授

2. 主な講義場所 : M&Dタワー11階 大学院講義室3

3. 授業目的・概要等

授業目的

- ・ 作用メカニズムに基づく抗がん剤の分類を理解し、抗体医薬や分子標的薬の具体例を学び、合理的な化学療法の設計法について考察する。
- ・ 抗がん剤の体内動態や作用に関わるトランスポーターについて学び、抗がん剤の臨床薬理を理解する。
- ・ 抗がん剤治療の最適化を目指したドラッグデリバリーシステム概念と具体例を学ぶ。
- ・ 抗がん剤に対する感受性や副作用の有無を患者個別に予測するためのゲノム情報の活用について学ぶ。
- ・ 新規抗がん剤の創製に向けたメディシナルケミストリーのアプローチを学ぶ。

概要

アルキル化剤から分子標的治療薬まで、多様な抗がん剤の作用メカニズムを概観し、ヒト化抗体医薬や分子標的薬の開発と臨床応用の具体例を紹介する。抗がん剤の吸収・分布・代謝・排泄や腫瘍組織への移行過程における薬物トランスポーターの関わりやその変動因子について考察する。

有効性と安全性という観点から、PK/PDに基づく合理的な抗がん剤の投与設計や具体的な抗がん剤の調製における注意点につき講述する。抗がん剤の選択的な腫瘍組織への送達や薬物濃度の制御を可能とするドラッグデリバリーシステムの進歩について解説する。さらに、個々のがん患者に対して最適な化学療法を提供する、いわゆるテーラーメイド医療の実現に向けた、ファーマコゲノミクスの取り組みについて講述する。新規抗がん剤の創製に向けて、抗体医薬やメディシナルケミストリーのアプローチを紹介する。

4. 授業の到達目標

- ・ 抗がん剤の作用メカニズムと体内動態特性に基づき、遺伝情報や薬物血中濃度を利用した合理的な抗がん剤の投与設計ができる。
- ・ 新規の抗がん剤開発に必要な方法論や薬剤を腫瘍組織に選択的に送達させる手法について説明できる。

5. 授業の方法

講義形式による。

6. 授業内容

回数	日時	講義内容	担当者	担当者連絡先 (e-mail)
1	11月16日(月)1時限目	チューブリンや変異遺伝子、 筋肉を標的とする抗がん剤研究	林 良雄	yhayashi@toyaku.ac.jp
2	11月16日(月)2時限目			
3	11月17日(火)1時限目	抗体医薬品の薬物動態と 薬力学	栗原 隆	t.kuwabara@hamayaku.ac.jp
4	11月17日(火)2時限目			
5	11月18日(水)1時限目	抗がん剤のファーマコゲノミクス	三木 義男	miki.mgen@mri.tmd.ac.jp
6	11月18日(水)2時限目			
7	11月19日(木)1時限目	抗がん剤の臨床薬理学	永田 将司	mna-mpha@tmd.ac.jp
8	11月19日(木)2時限目			

7. 成績評価の方法

出席状況(60点)とレポート(40点)によって評価する。

8. 準備学習などについての具体的な指示

特になし。

9. 参考書

特になし。

10. 履修上の注意事項

ハンドアウト有り。

11. オフィスアワー

授業内容の問い合わせは、電子メールで連絡を取ることににより、適宜これに対応する。

12. 備考

特になし。

がんプロシラバス

種別:薬物療法コース

科目名:がん化学療法特論 (Advanced Topics in Anticancer Chemotherapy) 1単位

科目コード:9816

科目ID:GM-C9816-L

注) この講義は東京薬科大学からの遠隔講義となります。

1. 担当教員

科目担当責任教員:

下枝 貞彦 東京薬科大学大学院薬学研究科臨床薬剤学教室 教授

科目担当教員:(講義順)

平野 俊彦 東京薬科大学大学院薬学研究科臨床薬理学教室 教授

下枝 貞彦 東京薬科大学大学院薬学研究科臨床薬剤学教室 教授

杉浦 宗敏 東京薬科大学大学院薬学研究科医薬品安全管理学教室 教授

2. 主な講義場所 : M&D タワー11階 大学院講義室3

(東京薬科大学医療薬学研究棟3階講義室より M&D タワー11階へ遠隔講義配信)

3. 授業目的・概要等

授業目的

がん化学療法の基礎と臨床について、その現状を理解させると共に、問題点や課題を克服するための対処法や、今後の研究に関する考え方を修得させる。

概要

がん化学療法の実際とその科学的基盤について概説する。講師陣は、いずれも薬学部出身の教授で、薬剤師でもある。がん化学療法の基盤となっている臨床薬理学も分かり易く解説するとともに、がん化学療法のチーム医療における薬剤師の役割について幅広い活動を紹介する。

4. 授業の到達目標

がん化学療法の実際とその科学的基盤について説明できる。がん化学療法の基盤となっている臨床薬理学と時間薬理学について説明できる。がん化学療法のチーム医療における薬剤師の役割について概説できる。

5. 授業の方法

講義形式による。

6. 授業内容

回数	日時	講義内容	担当者	担当者連絡先 (e-mail)
1	11月24日(火)1時限目	がん化学療法の基礎:特徴と問題点	平野 俊彦	hiranot@toyaku.ac.jp
2	11月24日(火)2時限目			
3	11月25日(水)1時限目	がん化学療法の臨床薬理学と時間薬理学	平野 俊彦	hiranot@toyaku.ac.jp
4	11月25日(水)2時限目			
5	11月26日(木)1時限目	がん専門薬剤師が関わるチーム医療	下枝 貞彦	shimoeda@toyaku.ac.jp
6	11月26日(木)2時限目			
7	11月27日(金)1時限目	がん化学療法と緩和医療	杉浦 宗敏	msugi@toyaku.ac.jp
8	11月27日(金)2時限目			

7. 成績評価の方法

出席状況とレポートまたは小テストによって評価する。

8. 準備学習などについての具体的な指示

総合基礎および抗がん剤薬理学で学修した内容について、ざっとおさらいをしておいてください。

9. 参考書

講義によってプリント等を配布する場合がある。筆記用具のみ持参。

10. 履修上の注意事項

特になし。

11. オフィスアワー

毎週金曜日午後 14:00~16:00

科目責任者:下枝貞彦 東京薬科大学臨床薬理学教授室(東京薬科大学医療薬学研究棟2階)

12. 備考

特になし。

がんプロシラバス

種別:緩和ケア・ライフステージコース

科目名:緩和ケア・緩和医療学 (Palliative Medicine) 1単位

科目コード:9817

科目ID:GM-C9817-L

1. 担当教員

科目担当責任教員:

三宅 智 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科臨床腫瘍学分野 教授

科目担当教員:(講義順)

三宅 智 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科臨床腫瘍学分野 教授

吉澤 明孝 要町病院 院長

田中 桂子 がん・感染症センター東京都立駒込病院緩和ケア科 部長

山田 陽介 東京都保健医療公社豊島病院緩和ケア内科 部長

2. 主な講義場所 : M&Dタワー11階 大学院講義室3

3. 授業目的・概要等

授業目的

わが国の緩和医療は当初、治癒を目的とした医療に対して反応しなくなった、主にごん患者に行われる疼痛緩和を中心としたいわばみとりの医療であったが、その後、治療の早期からも適応されるようになり対象が広がった。今後実施される多方面からアプローチする講義の理解を深める準備として全体像を概観する。また、患者の全体像を評価するQOLについての知識と、こうした患者やその家族に接する際のコミュニケーション・スキルについて修得できるようにすることも目標である。

概要

緩和医療について、その理念、目的、意義、および実態について概観する。また、ホスピスや緩和ケア病棟での緩和ケア、在宅での緩和ケアについて、実際の臨床現場に即して解説する。さらに、緩和医療の際の最も基本である、全人的な痛みを評価するためのQOL尺度の説明や応用、および患者やその家族とのコミュニケーションについて、事例をまじえて講義を行う。

4. 授業の到達目標

緩和ケアの実際を学び、実臨床、研究に生かすことができる。

5. 授業の方法

講義形式による。

6. 授業内容

回数	日時	講義内容	担当者	担当者連絡先 (e-mail)
1	6月29日(月)1時限目	緩和医療概論	三宅 智	sm.conc@tmd.ac.jp
2	6月29日(月)2時限目			
3	6月30日(火)1時限目	在宅医療における身体症状 へのアプローチ	吉澤 明孝	kanamecho-hp@nifty.com
4	6月30日(火)2時限目			
5	7月 1日(水)1時限目	がん患者の呼吸器症状マネ ジメントと終末期の対応	田中 桂子	keiko-tanaka@cick.jp
6	7月 1日(水)2時限目			
7	7月 2日(木)1時限目	緩和ケア病棟における身体 症状へのアプローチ	山田 陽介	yousuke_yamada@tokyo-hmt.jp
8	7月 2日(木)2時限目			

7. 成績評価の方法

出席状況、レポートまたは小テストによって評価する。

8. 準備学習などについての具体的な指示

特になし。

9. 参考書

Oxford Textbook Of Palliative Medicine 5th edition (Cherny and Fallon, Oxford Textbook of Palliative Medicine): 2015

在宅医療・介護基本手技マニュアル改訂第2版 谷亀光則編 永井書店 2005

在宅での看取りと緩和ケア 佐藤 智 鈴木 荘一 村松静子編 中央法規 2008

ひとはなぜ、人の死を看とるのか 鈴木 荘一 著 人間と歴史社

がん医療におけるコミュニケーション・スキル—悪い知らせをどう伝えるか 内富庸介 藤森麻衣子 医学書院 2007

続・がん医療におけるコミュニケーション・スキル —実践に学ぶ悪い知らせの伝え方— 内富庸介 藤森麻衣子 医学書院 2009

患者から「早く死なせてほしい」と言われたらどうしますか？ 新城拓也 金原出版 2015

よくわかる医療面接と模擬患者 鈴木 富雄 阿部 恵子 名古屋大学出版会 2011

10. 履修上の注意事項

精神腫瘍学特論との関連性が深いので是非受講して頂きたい。ハンドアウトはできるだけ用意する。すぐに実践できる知識を身につけることを目指している。

11. オフィスアワー

12. 備考

特になし。

がんプロシラバス

種別:緩和ケア・ライフステージコース

科目名:緩和ケア・精神腫瘍学 (Psycho-oncology) 1単位

科目コード:9818

科目ID:GM-C9818-L

1. 担当教員

科目担当責任教員:

三宅 智 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科臨床腫瘍学分野 教授

科目担当教員:(講義順)

清水 研 公益財団法人がん研究会有明病院腫瘍精神科 部長

野口 海 慶應義塾大学大学院政策メディア研究科 特任准教授

小川 朝生 国立がん研究センター先端医療開発センター精神腫瘍学開発分野 分野長
国立がん研究センター東病院精神腫瘍科 科長

大西 秀樹 埼玉医科大学国際医療センター精神腫瘍科 教授

2. 主な講義場所 : M&Dタワー11階 大学院講義室3

3. 授業目的・概要等

授業目的

がん患者やその家族のこころに目を向け、身体的側面だけではなく精神的側面についても把握できるようにする。そのためには、がん患者の誰もが抱えるストレスから、治療が必要な精神症状まで、幅広く理解しておくことが必要である。これらをもとに、個々のがん患者に対する対応および、精神症状に対する診断や治療ができるようにする。また、患者家族や遺族の精神状態の把握や心理的介入、治療ができるようにする。

概要

精神腫瘍学の意義に始まり、がん患者のストレス、コーピング・スタイル、精神症状でもよく認められる不安・抑うつ診断と治療、絶望感や自殺の問題とその対応、せん妄の診断とその対策、がん患者の家族に対する理解や対応、遺族のケア、終末期の患者のスピリチュアリティや尊厳の問題など、症例をあげながら解説し、患者を包括的、全人的に診療していく姿勢を身につけていただく。

4. 授業の到達目標

がん患者およびその家族の精神心理的側面を理解し、臨床現場で患者や家族に十分対応できるようにする。また、解決できない問題は緩和ケアチームなど適切な問い合わせをおこなえるようにし、連携してケアを進めて行けるような対応能力を身につける。

5. 授業の方法

講義形式による。

6.授業内容

回数	日時	講義内容	担当者	担当者連絡先 (e-mail)
1	7月 6日(月)1時限目	がん患者の心理と精神的苦痛への対応	清水 研	keshimiz@ncc.go.jp
2	7月 6日(月)2時限目			
3	7月 7日(火)1時限目	終末期の精神医学的問題	野口 海	atarunoguchi@yahoo.co.jp
4	7月 7日(火)2時限目			
5	7月 8日(水)1時限目	せん妄への対応	小川 朝生	asogawa@east.ncc.go.jp
6	7月 8日(水)2時限目			
7	7月10日(金)1時限目	がん患者家族と遺族が抱える苦悩の理解と対応について	大西 秀樹	honishi@saitama-med.ac.jp
8	7月10日(金)2時限目			

7.成績評価の方法

出席状況とレポートまたは小テストによって評価する。

8.準備学習などについての具体的な指示

特になし。

9.参考書

明智龍男著:がんところのケア. NHK ブックス 975, 2003 年

Psycho-Oncology 2nd edition (eds. Holland JC et al), Oxford University Press, New York, 2010.

Handbook of Psychiatry in Palliative Medicine 2nd edition. (eds.Chochinov HM, Breitbart W),

Oxford University Press, New York, 2009.

大西秀樹著:がん患者の心を救う. 河出書房新社, 2008 年

日本サイコオンコロジー学会教育委員会監修:緩和ケアチームのための精神腫瘍学入門.

医薬ジャーナル社, 2009 年

松島英介編著:がん患者のこころ(現代のエスプリ 517). ぎょうせい, 2010 年

大西秀樹編著:サイコオンコロジー(専門医のための精神科臨床リュミエール 24). 中山書店, 2010 年

清水 研編著:がん医療に携わるすべての医師のための心のケアガイド. 真興交易(株)医書出版部, 2011 年

岡村 仁著:がんで不安なあなたへ. メディカルトリビューン, 2011 年

内富庸介, 小川朝生編集:精神腫瘍学. 医学書院, 2011 年

内富庸介, 大西秀樹, 小川朝生編著:サイコオンコロジーを学びたいあなたへ. 文光堂, 2011 年

小川朝生, 内富庸介編集:精神腫瘍学クリニカルエッセンス. 創造出版, 2012 年

上村恵一, 小川朝生他編集:がん患者の精神症状はこう診る, 向精神薬はこう使う. じほう, 2015 年

10.履修上の注意事項

前の週に開講される「緩和医療概論」は関連が深いため、是非受講していただきたい。ハンドアウトはできるだけ用意する。活発な質疑を期待しているので、積極的な姿勢で受講していただきたい。

11. オフィスアワー

12. 備考

特になし。

がんプロシラバス

種 別:緩和ケア・ライフステージコース

科目名:緩和ケア・ライフステージ (Life stage and palliative care) 1単位

科目コード:9819

科目 ID:GM-C9819-L

1. 担当教員

科目担当責任教員:

三宅 智 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科臨床腫瘍学分野 教授

科目担当教員:(講義順)

三宅 智 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科臨床腫瘍学分野 教授

保坂 隆 保坂サイコオンコロジー・クリニック 院長

林 章敏 聖路加国際病院緩和ケア科 部長

小池 眞規子 目白大学人間学部心理カウンセリング学科 教授

2. 主な講義場所 : M&Dタワー11階 大学院講義室3

3. 授業目的・概要等

授業の目的

がん患者の様々なライフステージ、療養の場での緩和ケア提供の実際を学ぶ。

概要

身体症状に対する緩和治療の意義、がん性疼痛、呼吸困難、倦怠感、浮腫等々多彩ながんに伴う症状の特徴とその対応を解説。さらに外来、一般病棟(緩和ケアチーム)、緩和ケア病棟、在宅医療の現場における身体症状への対応について具体的な事例を提示しながら解説し、疾患の全経過に関する緩和医療のありかたについて理解を深められるよう講義を行う。

4. 授業の到達目標

様々なライフステージと緩和ケアの関連を学び、実臨床、研究に生かすことができる。

5. 授業の方法

講義形式による。

6. 授業内容

回数	日時	講義内容	担当者	担当者連絡先 (e-mail)
1	7月14日(火)1時限目	緩和ケアと臨床倫理・哲学	三宅 智	sm.conc@tmd.ac.jp
2	7月14日(火)2時限目			
3	7月15日(水)1時限目	サイコオンコロジー(精神腫瘍学)総論	保坂 隆	hosaka@luke.ac.jp
4	7月15日(水)2時限目			
5	7月16日(木)1時限目	鎮静・臨死期の諸問題	林 章敏	hayashi@luke.ac.jp
6	7月16日(木)2時限目			
7	7月17日(金)1時限目	緩和ケアにおけるコミュニケーション	小池 真規子	mkoike@mejiro.ac.jp
8	7月17日(金)2時限目			

7. 成績評価の方法

出席状況とレポートまたは小テストによって評価する。

8. 準備学習などについての具体的な指示

特になし。

9. 参考書

Oxford Textbook Of Palliative Medicine 5th edition (Cherny and Fallon, Oxford Textbook of Palliative Medicine): 2015

Symptom Management in Advanced Cancer: Robert G. Twycross, Andrew Wilcock 2009 (武田文和/訳 トワイクロス先生のがん患者の症状マネジメント第2版 医学書院 2010年)

がんの痛みからの解放—WHO方式がん疼痛治療法 世界保健機関/編 武田文和/訳 金原出版 1996年

10. 履修上の注意事項

緩和医療概論、精神腫瘍学特論との関連性が深いので是非受講して頂きたい。
すぐに実践できる知識を身につけることを目指している。ハンドアウト有。

11. オフィスアワー

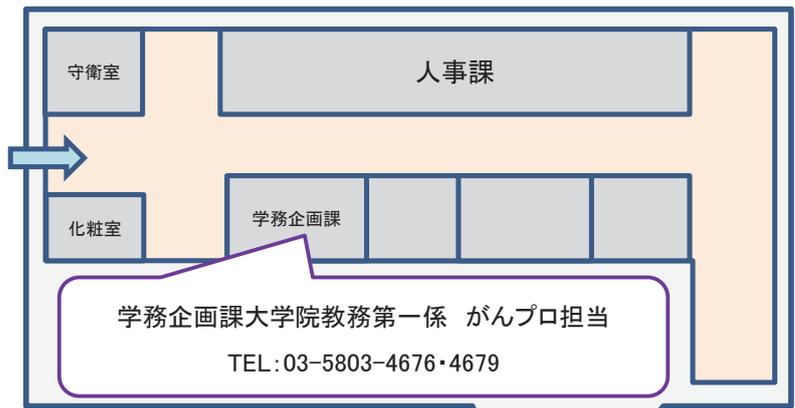
12. 備考

特になし。

○キャンパス案内

東京医科歯科大学 文京区湯島 1-5-45

- ・学務企画課大学院教務第一係：
 - 1号館西 1階
- ・がんプロ講義室
 - M&Dタワー11階 大学院講義室 3
- ・図書館：M&Dタワー3階
- ・生活協同組合：5号館
 - 地下1階(売店) 1階(食堂)



☆建物入り口 M&Dタワーの入口は19時からロックがかかります。
19時以降にいらっしゃる学外の方は入口のインターフォンでお知らせ下さい。

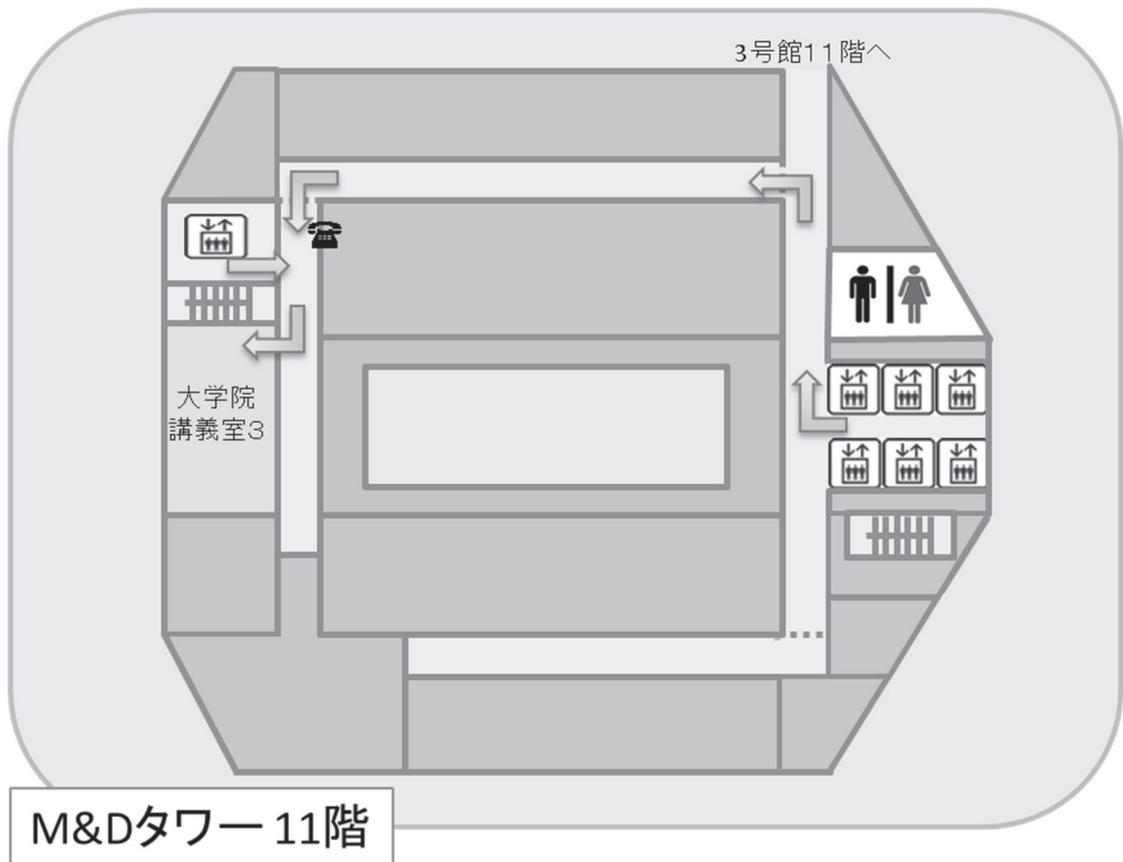
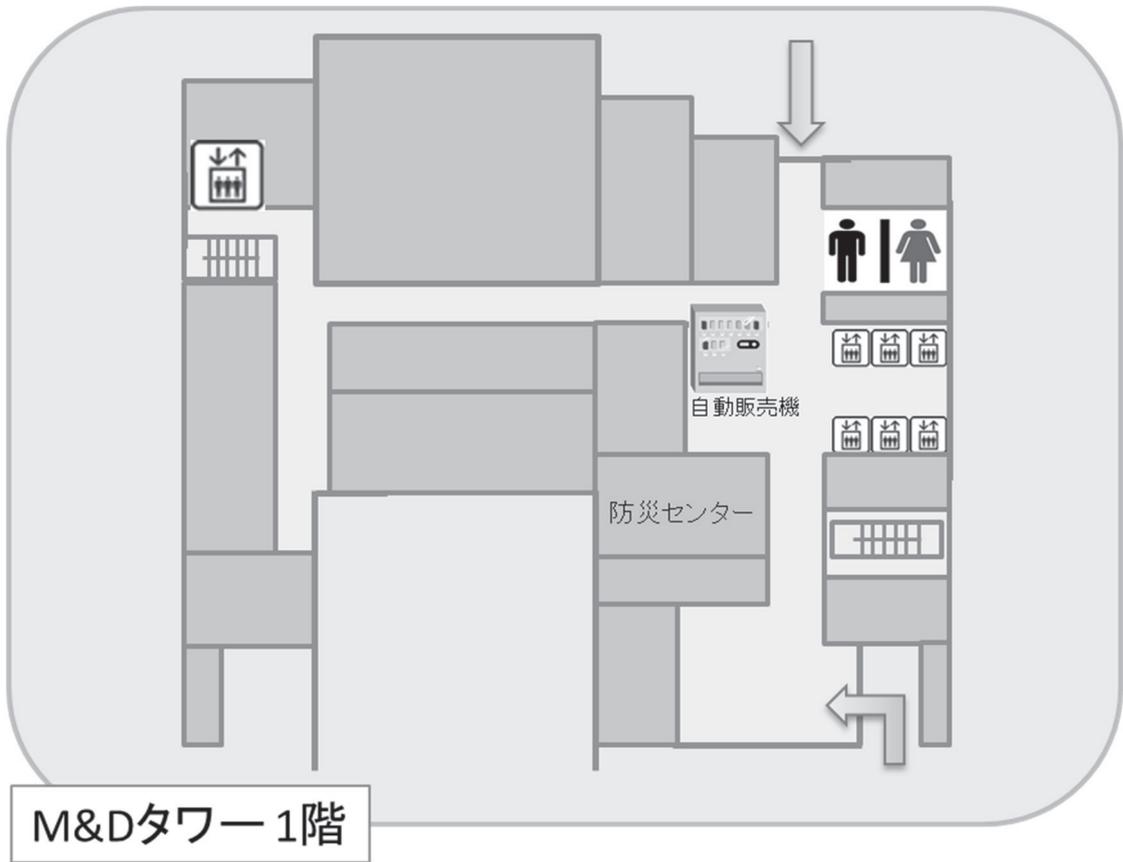
◎大学院掲示板



M&Dタワー
← 1階正面入口 (施錠後も中からは解除できます。)

1階北側入口→





* 大学院講義室 2 は 13 階の同じ場所です。

2020年度授業科目履修届

未来がん医療プロフェッショナル養成プラン

大学院医歯学総合研究科長 殿

学籍番号:	_____	ふりがな 氏名:	_____
入学年度:	_____	所属分野:	_____
携帯番号:	_____	所属先番号/内線:	_____
アドレス 1:	_____	アドレス 2:	_____

- ☆ アドレスの「-ハイフン」と「_アンダーバー」、「o オー」と「0 ゼロ」など区別が付きにくい場合はフリガナをつけること
- * この連絡先は、がんプロ授業の連絡手段としてのみ使用します 必ず連絡のとれる連絡先を記入すること
- * 課題等もメールでお知らせする場合がありますので添付ファイルが受信できるアドレスを記入すること 携帯アドレスのみは不可

下記授業科目を履修したいので届け出ます。

提出期限(厳守): 2020年4月10日(金) 17:00 まで
提出場所 : 1号館西1階 学務企画課大学院教務第一係

	登録科目名	単位数	科目責任者
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
合計単位数			

※ 授業科目名、単位数、科目責任者は、履修要項を参照の上、記入してください